【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2004-338942(P2004-338942A)
【公開日】平成16年12月2日(2004.12.2)
【年通号数】公開・登録公報2004-047
【出願番号】特願2004-42275(P2004-42275)
【国際特許分類】
Ｂ６６Ｂ　7/06　(2006.01)
Ｂ６６Ｂ　11/00　(2006.01)
Ｂ６６Ｂ　11/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６６Ｂ　7/06　Ｌ
Ｂ６６Ｂ　7/06　Ａ
Ｂ６６Ｂ　11/00　Ａ
Ｂ６６Ｂ　11/02　Ｊ
Ｂ６６Ｂ　11/02　Ｋ

【手続補正書】
【提出日】平成18年11月27日(2006.11.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
エレベータ昇降路（２）内を動くことができるエレベータケージ（３）とカウンターウエイト（４）とから構成されるエレベータ（１）であって、エレベータケージ（３）およびカウンターウエイト（４）は、偏向ローラ（１６、１８、２０）にわたって案内される支持駆動手段（１１）によって接続され、駆動装置（１２）は前記エレベータケージ（３）および前記カウンターウエイト（４）を駆動するエレベータ（１）であって、前記偏向ローラ（１６、１８）は、前記エレベータケージ（３）のフロア（２１）またはルーフ（４０）に一体化されることを特徴とする、エレベータ（１）。
【請求項２】
前記偏向ローラ（１６、１８）は前記エレベータケージ（３）の前記フロア（２１）に一体化され、前記支持駆動手段（１１）はフロアチャネル（２１．１）に案内されることを特徴とする、請求項１記載のエレベータ（１）。
【請求項３】
前記偏向ローラ（１６、１８）は前記エレベータケージ（３）の前記ルーフ（４０）に一体化され、前記支持駆動手段（１１）はルーフチャネル（４０．１）に案内されることを特徴とする、請求項１記載のエレベータ（１）。
【請求項４】
前記偏向ローラ（１６、１８）を支持する要素（３１．１、３１．２、３１．３）は、構造物のサンドイッチモードに作られた前記ケージフロア（２１）に接続されるか、または、構造物のサンドイッチモードに作られた前記ケージルーフ（４０）に接続されることを特徴とする、請求項１から３のいずれか１項に記載のエレベータ（１）。
【請求項５】
さらなる偏向ローラ（２０）が前記カウンターウエイト（４）に一体化され、前記さら

なる偏向ローラ（２０）を収容するために切欠（４．２）が前記カウンターウエイト（４）に設けられることを特徴とする、請求項１記載のエレベータ（１）。

【請求項６】

前記カウンターウエイト（４）はオフセット（４．１）を有し、前記カウンターウエイト（４）は前記オフセット領域によって前記駆動装置（１２）を通過して動くことができることを特徴とする、請求項５記載のエレベータ（１）。